

衆議院小選挙区 立候補予定者政策アンケート結果

2月8日投開票の衆議院議員選挙に、長野県では5小選挙区に自由民主党5名、立憲民主党（後に中道改革連合）4名、日本維新の会2名、共産党1名、参政党1名の13名が立候補を予定していました（1月16日現在）。長野県保険医協会では1月16日時点の立候補予定者13名にアンケートを実施し、医療政策等に関する質問事項への回答と「医療政策に関する自由意見」を求めた。

長野県保険医協会は、規約において会員個人の思想信条、政党支持は自由であると明記しており、特定の政党や候補者の推薦はしません。しかし、健康保険証廃止問題や患者負担増を中心とした制度改革など今後の医療の方向性を見定める上で、今回の選挙は重要な選挙といえます。

アンケートでは立候補予定者に対し、医療政策等に関する質問項目への回答と「医療政策に関する自由意見」を求め、1月16日に各候補者に郵送、1月26日を締め切りとして実施しました。

2頁から質問項目を掲載した上で回答を一覧にしました。アンケートの本文は最終頁を参照してください。

なお、公示日が1月27日のためアンケート実施期間が短いことから、本アンケート結果は協会ホームページのみの公表となりますことをご了承ください。また、長野県保険医協会では選挙後に当選議員に対してアンケートへの回答などをもとに要望懇談していくことを予定しています。

2026年1月26日 長野県保険医協会

長野１区 ＜長野市（旧市域）、須坂市、中野市、飯山市、上高井郡、下高井郡、下水内郡＞

立候補予定者（到着順）			
	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
問１ 診療報酬について			
（１）基本診療料を中心に診療報酬を 10%以上引き上げることについて	賛成	その他	期日までに政策についての回答が得られませんでした
（理由・意見）		医療機関の経営悪化、医療従事者の賃金が全産業平均を下回っていること、人材確保が難しいという現状を、私自身も税務会計戦略コンサルタントの立場からもクライアント様の現状をみて理解をしております。同時に健康保険財政への負担増や保険料・税金の増加につながる可能性があり国民負担増にもつながります。診療報酬は医療の質や提供体制、効率性の確保とも連動していますので、資源配分の見直しと現役世代の負担軽減のDD分析をしつつ、どの水準がベターなのかを出したいと思います。	

	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
問2 消費税、社会保障財源等			
(1) 消費税は将来は廃止し、当面は5%に引き下げることにについて	その他	賛成	
(理由・意見)		消費税という「有り方」そのものを見直す必要があると感じています。社会保障費に使うのであれば、厚労省の特別会計に置くべきですが、一般会計の中にいれておくのであれば、消費者動向、株価動向に合わせて変動する、変動型消費税等も検討していく必要性を感じています。GDPとして国内に出回っているお金は決まっています。実質賃金があがらず、物価があがり、消費が増えないのであれば、「無いところから取る」のではなく、お金を消費し、世の中にお金をまわす施策をとり、回ってきたら「いただく」という方針を求めたいです。	期日までに政策についての回答が得られませんでした
(2) 保険診療の消費税「損税」解消へゼロ税率含む税制措置を講じることについて	賛成	その他	
(理由・意見)		消費税の二重課税につきましては、税負担軽減につながる制度設計は必要と思います。充当の内訳の分析を早急に行う必要があると考えます。その上で必要なものであれば、国民に問うべきです。	

	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
(3) 社会保障財源は、応能負担の原則に基づき、保険料や税の累進性強化等により確保することについて	賛成	賛成	
(理由・意見)		応能負担の原則としまして、制度の公平性として取り入れる必要はあります。財源の確保と負担の公平性を重視する必要性がありますが、負担軽減+制度改革による持続可能性の確保が求められると思います。実務的な社会保障制度の適正化（医療費の見直し、高齢者負担の公平化など）も加味しながら、累進性強化（個人だけでなく法人も）の検討が必要と考えます。	期日までに政策についての回答が得られませんでした
問3 今後実施が予定、検討される医療制度改革等			
(1) 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げを行わないことについて	その他	その他	
(理由・意見)		上限引き上げには反対です。一方、高額療養費の商流、製造、市場の内情の分析をしていく必要があると考えています。医療にビジネスをどこまで持ち込み利益をだしているのか等、大本の調査も必要に思います。困っている人を助ける。ことを国全体、国民が当たり前にする道徳教育にも精通する話にも感じています。	

	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
(2) OTC 類似薬の保険給付の見直しを行 わないことについて	賛成	反対	
(理由・意見)		持続可能な医療制度にするべく、現役世代 の社会保険料負担軽減のために、現行の保 険給付対象となっている OTC 類似薬の見直 しを進めるべきだと思います。ただし、受 診抑制にならないよう、医療リテラシーを 国民へ周知していく必要も感じています。	
(3) 病床削減ありきでなく必要病床確保 を優先することについて	賛成	その他	
(理由・意見)		単純な削減ということではなく、機能の再 編・効率化と組み合わせていく必要があると 感じています。制度を持続的に機能させて いくことと、コスト抑制を考えますと、削減 はどうしても必要になってくると思われま す。	期日までに政策についての回答が得られませんでした

	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
問4 健康保険証、資格確認書について			
(1) 保険証新規発行停止を撤回し、従来保険証を利用継続することについて	賛成	その他	
(2) 全世代に対し、資格確認書を一律に交付することについて	賛成	賛成	
(理由・意見)		<p>(1) 診療履歴や資格確認がスムーズになり、医療提供体制全体の効率化に資すると同時に、DX化として税と一体化できる点は今後の人口構成比率を見て今後の日本人の労働者が減ることを考えれば効率的な対応に思います。側面として、(2)の意見も当然ありますので、中期スパンで考えると混乱は減るのではないかと考えます。</p> <p>(2) マイナ保険証の利用率が低い現状では、現行保険証と同じように使える資格確認書の幅広い交付は、医療を受ける平等性として当然だと思います。</p>	期日までに政策についての回答が得られませんでした

	篠原 孝 中道	若狭 清史 維新	若林 健太 自民
問5 医療政策に関する自由意見	<p>総合病院を組織的に再編し、その支所（診療所）を過疎地に置く。総合病院も</p> <p>① 都市部の大病院の偏在をなくす。</p> <p>② その総合病院を消化器系、循環器系、泌尿器科系・・・等の専門性を持たして、融合を避ける。</p> <p>③支所（診療所）には3～5年交代の赴任とする。</p>	<p>医療にも経営、医学、労働、様々な視点があります。そして、国家国民を守る大切な分野であるが故に国が大きく関与していることも理解できます。</p> <p>人口構造が変化している昨今、医療費の見直し、医療提供体制の改革、制度の現代化をもう一度見直して行く必要があるやに感じています。同時に、医学の大切さ、技術の向上に関しては世界にアピールできるものが多数あります。ここをもっと推進支援していく必要も感じています。経営者目線での税の在り方、労働者としての賃金アップを議論すると同時に、業界に関与する市場の見直しも必要に感じております。</p> <p>辛い人を笑顔にしていただけると本当に大切な医療界だと私も身近な体験から感じています。これからも、様々なご意見をお聞かせください。</p>	<p>期日までに政策についての回答が得られませんでした</p>

長野２区 ＜松本市、大町市、安曇野市、東筑摩郡、北安曇郡、上水内郡、長野市（旧大岡村、豊野町、戸隠村、鬼無里村、信州新町、中条村域）＞

立候補予定者（到着順）				
	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
問１ 診療報酬について				
（１）基本診療料を中心に診療報酬を 10%以上引き上げることについて	その他	賛成	期日までに政策についての回答が得られませんでした	期日までに政策についての回答が得られませんでした
（理由・意見）	全ての医療機関の赤字の状況、物価高や人件費高騰に対応可能なプラス改定とすべきです。	維新は、物価高騰や賃金上昇に負けない医療体制の維持を重視しています。医療従事者の処遇改善は不可欠であり、診療報酬の適切な引き上げを支持する立場です。ただし、単なる予算投入ではなく、医療DX（電子カルテの共有等）の推進による業務効率化をセットで行うことで、医療現場の生産性を高め、持続可能な医療提供体制を構築することを目指しています。		

	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
問2 消費税、社会保障財源等				
(1) 消費税は将来は廃止し、当面は5% に引き下げることにについて	反対	賛成		
(理由・意見)	消費税は社会保障を支える重要財源 ですから、減税・廃止をするなら、 確実に代替財源を確保すべきです が、一律減税や廃止では巨額の減収 が生じるため、財源確保は著しく困 難になります。私たちは、暮らしと 財政を両立させる「生活者ファース トの賢い財政」を目指す立場から、 現下、価格高騰が著しい生活必需品 である食料品に対象を限定し、財源 を確実に確保した上で減税すべきだ と考えます。	維新は「フローからストックへ」の 税制抜本改革を掲げ、景気刺激策と して消費税の暫定的な5%への減税 を公約しています。長期的には、複 雑な所得税の控除や低い消費税率を 組み合わせるよりも、税率を抑えつ つ税制を簡素化する「フラットタッ クス」の検討も含め、現役世代の可 処分所得を最大化し、経済の活力を 取り戻すことを最優先としていま す。	期 日 ま で に 政 策 に つ い て の 回 答 が 得 ら れ ま せ ん で し た	期 日 ま で に 政 策 に つ い て の 回 答 が 得 ら れ ま せ ん で し た
(2) 保険診療の消費税「損税」解消へゼ ロ税率含む税制措置を講じることにについて	賛成	その他		
(理由・意見)	医療機関の控除対象外消費税問題を 解消するため、診療報酬への補填を 維持した上で、新たな税制上の措置 を早期に講じます。	医療機関が仕入れにかかった消費税 を患者に転嫁できない「控除対象外消 費税（損税）」の問題に対し、維新は医 療経営の透明性と公平性の観点から 改善の必要性を認識しています。しか し、特定の項目のみをゼロ税率化する ことには税制全体の整合性や還付事 務の煩雑化などの課題もあるため、税 制抜本改革の中で最適な解決策を慎 重に議論する立場をとっています。		

	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
(3) 社会保障財源は、応能負担の原則に基づき、保険料や税の累進性強化等により確保することについて	その他	その他		
(理由・意見)	<p>応能負担、「ジャパン・ファンド」(国の資産を一体的に運用することで、新たな財源をつくり出す政府系ファンド)の創設やムダの多い政府基金・剰余金の活用により新しい財源をつくるとともに、予防医療やDX等を通じた歳出改革を行います。</p>	<p>維新の根幹政策は「増税の前に、身を切る改革と徹底した歳出改革」です。安易な増税や累進性の強化で財源を求めるのではなく、まずは天下り先の廃止や行政のDX化、国会議員の定数削減などの改革を断行すべきだと主張しています。徹底した無駄の削減によって捻出した財源を社会保障に充て、現役世代の社会保険料負担を軽減することを目指します。</p>	<p>期日までに政策についての回答が得られませんでした</p>	<p>期日までに政策についての回答が得られませんでした</p>
問3 今後実施が予定、検討される医療制度改革等				
(1) 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げを行わないことについて	その他	賛成		
(理由・意見)	<p>治療を断念したり、生活破綻に追い込まれることがないように、制度を維持しつつ、高額療養費の自己負担限度額の引き上げを見直して、十分に抑制します。</p>	<p>物価高の影響で国民の生活が困窮する中、現役世代の医療費負担をこれ以上増やすべきではないという考えに基づきます。維新は「受益と負担の公正」を重視しますが、それは資産を持つ高齢者などへの負担の見直しを通じて実現すべきものであり、一律の限度額引き上げには慎重です。財源は制度全体の合理化と行財政改革によって確保すべきだと主張しています。</p>		

	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
(2) OTC 類似薬の保険給付の見直しを行 わないことについて	その他	反対		
(理由・意見)	患者団体等の意見聴取と尊重、詳細なデータ収集・分析等を経て慎重かつ丁寧に検討すべきです。	維新は「持続可能な社会保障制度」を構築するため、医療資源の重点配分を推進しています。市販薬で代用可能な軽微な症状についてはセルフメディケーションを促し、公的保険の対象を高度医療や難病治療、重症者支援に集中させるべきだという立場です。受益と負担を明確にし、真に支援が必要な人へ資源を振り向ける合理的な判断を支持します。	期日までに政策についての回答が得られませんでした	期日までに政策についての回答が得られませんでした
(3) 病床削減ありきでなく必要病床確保を優先することについて	賛成	その他		
(理由・意見)	病床数のあり方は、医療の質の確保を前提として都道府県が地域の実情を踏まえて検討すべきです。	維新は、医療の質向上と効率化のために「病床の機能分化」を強く求めています。単に数を減らすのではなく、急性期や回復期といった役割を明確にし、地域の実情に合わない不必要な病床は再編・削減を進めるべきです。一方で、真に必要な医療提供体制は守り抜くという、メリハリの利いた効率的な医療インフラの構築が維新のビジョンです。		

	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
問4 健康保険証、資格確認書について				
(1) 保険証新規発行停止を撤回し、従来保険証を利用継続することについて	その他	反対		
(2) 全世代に対し、資格確認書を一律に交付することについて	その他	その他		
(理由・意見)	誰もが必要な時に確実に医療を受けられる体制を堅持すべきです。	マイナンバーカードと健康保険証の一体化（マイナ保険証）は、医療DXの基盤であり、重複投薬の防止や緊急時の正確な情報把握など、患者・医療現場双方に大きなメリットをもたらします。維新はデジタル化による行政コストの削減と利便性向上を強力に推進しており、利権や古い慣習に縛られた「紙の保険証」の維持には明確に反対の立場です。 維新は、国民全員がデジタル化の恩恵を享受できる体制を最優先します。希望者全員への「資格確認書」の一律交付は、事務コストを増大させ、デジタル移行の足かせとなる懸念があります。カードを持たない方への配慮は例外的な措置に留め、マイナ保険証の普及と利便性向上を加速させることで、全世代がより質の高い医療サービスを受けられる環境を目指すべきです。	期日までに政策についての回答が得られませんでした	期日までに政策についての回答が得られませんでした

	下条 みつ 中道	手塚 大輔 維新	藤田ひかる 自民	竹下 博善 参政
問5 医療政策に関する自由意見	<p>○医療従事者等の給与を全産業平均へ引き上げるとともに、医師確保のための基金を拡充します。次期診療報酬改定でのプラス改定等により、経営困難な医療機関を支援します。</p> <p>○治療を断念したり、生活破綻に追い込まれることがないように、制度を維持しつつ、高額療養費の自己負担限度額の引き上げを見直して、十分に抑制します。</p> <p>○医薬品不足を解消し、質の高い医薬品を安定して供給できるようにするため、薬価の中間年改定を廃止します。</p>	<p>日本維新の会は、現役世代の負担を軽減し、持続可能な医療制度を構築するため「徹底した合理化とDX推進」を掲げています。マイナ保険証の完全移行による医療情報の共有化や、重複投薬・過剰診療の是正、病床の機能分化・再編を断行します。増税や保険料引き上げの前に、身を切る改革と歳出改革を優先し、資産のある高齢者には相応の負担を求め、世代間の公平性を確保した効率的な医療体制の確立を目指します。</p>	<p>期日までに政策についての回答が得られませんでした</p>	<p>期日までに政策についての回答が得られませんでした</p>

長野 3 区 <上田市、小諸市、佐久市、千曲市、東御市、南佐久郡、北佐久郡、小県郡、埴科郡>

立候補予定者（到着順）		
	神津 たけし 中道	井出 庸生 自民
問 1 診療報酬について		
（１）基本診療料を中心に診療報酬を 10%以上引き上げることについて	期日までに政策についての回答が得られませんでした	
（理由・意見）		
問 2 消費税、社会保障財源等		
（１）消費税は将来は廃止し、当面は 5%に引き下げることについて		
（理由・意見）		
（２）保険診療の消費税「損税」解消へゼロ税率含む税制措置を講じることについて		
（理由・意見）		
（３）社会保障財源は、応能負担の原則に基づき、保険料や税の累進性強化等により確保することについて		
（理由・意見）		

	神津 たけし 中道	井出 庸生 自民
問3 今後実施が予定、検討される 医療制度改革等		
(1) 高額療養費制度の自己負担限 度額の引き上げを行わないこと について	期 日 ま で に 政 策 に つ い て の 回 答 が 得 ら れ ま せ ん で し た	期 日 ま で に 政 策 に つ い て の 回 答 が 得 ら れ ま せ ん で し た
(理由・意見)		
(2) OTC 類似薬の保険給付の見直 しを行わないことについて		
(理由・意見)		
(3) 病床削減ありきでなく必要病 床確保を優先することについて		
(理由・意見)		
問4 健康保険証、資格確認書につ いて		
(1) 保険証新規発行停止を撤回 し、従来保険証を利用継続するこ とについて		
(2) 全世代に対し、資格確認書を 一律に交付することについて		
(理由・意見)		
問5 医療政策に関する自由意見		

長野 4 区 <岡谷市、諏訪市、茅野市、塩尻市、諏訪郡、木曽郡>

立候補予定者（到着順）		
	たけだ 良介 共産	後藤 茂之 自民
問 1 診療報酬について		
（１）基本診療料を中心に診療報酬を 10%以上引き上げることについて	賛成	その他
（理由・意見）	政府が 2026 年度予算案で診療報酬本体 3 %の引き上げを決めたのは世論と運動の成果ですが、地域医療の危機が各地で続いています。患者負担増にしないための国費投入を行いながら、診療報酬のさらなる抜本的な増額を進めるべきです。	医療現場を守るための診療報酬引上げは必要だが、10%以上の大幅引上げについては財政とのバランスを踏まえつつ段階的・重点的に対応すべき。
問 2 消費税、社会保障財源等		
（１）消費税は将来は廃止し、当面は 5%に引き下げることについて	賛成	反対
（理由・意見）	消費税増税などで庶民の負担増を繰り返す一方、大企業と大株主には減税と優遇を拡大する政治が、不公平を拡大し、暮らしも経済も壊してきました。消費税は廃止をめざして税率 5%に減税し、大企業や富裕層への優遇をただす改革を行うべきです。	社会保障財源と財政規律の観点から極めて慎重であるべきであり、代替策を優先すべきである。

	たけだ 良介 共産	後藤 茂之 自民
(2) 保険診療の消費税「損税」解消へゼロ税率含む税制措置を講じることについて	賛成	反対
(理由・意見)	保険診療が「非課税」であるために、医療機関が「損税」を強いられている問題は、診療報酬の抑制とあいまって経営危機を加速する重大な要因となっています。ゼロ税率を適用し、医薬品等にかかった消費税は還付するようにします。	「損税」問題については認識しており、解消に向けた対応は必要であるが、ゼロ税率化は消費税制度や財政への影響が大きいため。
(3) 社会保障財源は、応能負担の原則に基づき、保険料や税の累進性強化等により確保することについて	賛成	その他
(理由・意見)	世界では「タックス・ザ・リッチ」＝「富める者に課税を」の声が広がっています。大企業や富裕層への減税と優遇を正す「公正な課税」で、社会保障、教育、子育て支援など暮らし応援の財源を確保します。	応能負担の原則自体は共有するが、社会保障財源を主に保険料や税の累進性強化によることには慎重であるべきで他の総合的対応によるべき。
問3 今後実施が予定、検討される医療制度改革等		
(1) 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げを行わないことについて	賛成	その他
(理由・意見)	2025年の通常国会に政府が提出し、患者・当事者らの運動と国民の世論によって「凍結」された負担増案の“復活”は許せません。政府が準備する案に含まれている患者負担増部分の撤回を求めます。	患者保護の観点から一定の理解はできるが、医療保険財政の持続可能性や負担の公平性を踏まえ、恒久的な据え置きには慎重であるべき。
(2) OTC 類似薬の保険給付の見直しを行わないことについて	賛成	その他
(理由・意見)	OTC 類似薬の処方を受けた患者から、新たに「特別料金」を徴収するという案に、患者・家族や国民から怒りの声が上がっています。改悪阻止に全力をつくします。	医療保険財政の観点から賛成できず、患者への影響に配慮しながら段階的・例外付きでの見直しを検討すべきである。

	たけだ 良介 共産	後藤 茂之 自民
(3) 病床削減ありきでなく必要病床確保を優先することについて	賛成	賛成
(理由・意見)	“数値目標ありき”の病床削減、強引な病院の統廃合は、住民の命と健康を脅かし、地域社会の存立基盤を壊すだけです。コロナ危機の教訓も踏まえ、国の責任で地域医療の体制強化に向けた支援を行うべきです。	地域の実情や医療需要を踏まえ、国民の命と安心を守るために必要な病床の確保を優先すべき。
問4 健康保険証、資格確認書について		
(1) 保険証新規発行停止を撤回し、従来保険証を利用継続することについて	賛成	反対
(2) 全世代に対し、資格確認書を一律に交付することについて	賛成	反対
(理由・意見)	医療現場に多大なトラブルや混乱をもたらし、患者の受療権を脅かしているマイナ保険証の強制をやめ、従来保険証の復活・継続を行うべきです。当面、すべての人の受療権を保障するため、全世代に資格確認書を交付することを求めます。	医療 DX の観点からマイナ保険証への移行を堅持すべき。ただし、混乱が生じないよう支援策は十分に講じるべき。
問5 医療政策に関する自由意見	医療など社会保障は憲法 25 条にもとづく国民の権利であると同時に、経済の重要な部分を占めています。「現役世代の負担軽減」の名で患者負担増や給付削減を主張する党もありますが、そうした改悪はすべての世代の暮らしに被害をおよぼし、家計の所得減や将来不安の増大で経済にも打撃を与えます。日本共産党は、医療切り捨て政治を終わらせ、窓口負担や国保料（税）の軽減、地域の医療基盤の再生・強化のための改革を進めます。	医療は国民の命と安心を支える社会基盤であり、その持続可能性の確保が最重要課題である。医療従事者の処遇改善や地域医療体制の維持に配慮しつつ、医療 DX の推進や機能分化・連携による効率化を進めることが必要である。社会保障財源については財政規律を踏まえ、現役世代への過度な負担を避けながら、質の高い医療を将来世代に引き継ぐことを重視したい。懸命に現場で働く医療従事者の皆様には心から敬意を表します。

長野 5 区 <飯田市、伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡、下伊那郡>

立候補予定者（到着順）		
	福田 じゅんた 中道	宮下 一郎 自民
問 1 診療報酬について		
（１）基本診療料を中心に診療報酬を 10%以上引き上げることについて	賛成	期 日 ま で に 政 策 に つ い て の 回 答 が 得 ら れ ま せ ん で し た
（理由・意見）	物価高騰および他産業の賃金上昇に鑑み、医療従事者の処遇改善と医療機関の経営基盤強化は急務です。「人への投資」を重視する立場から、基本診療料を中心とした引き上げを支持します。	
問 2 消費税、社会保障財源等		
（１）消費税は将来は廃止し、当面は 5% に引き下げることについて	その他	
（理由・意見）	社会保障の安定財源としての消費税の役割を重視しますが、物価高の最中であり、景気が向上するまでの間、一定の減税、また食料品の消費税ゼロを推進すべきと考えます。	
（２）保険診療の消費税「損税」解消へゼ ロ税率含む税制措置を講じることにつ いて	賛成	
（理由・意見）	医療機関が負担する消費税が診療報酬で十分に補填されていない現状は、公平性を欠きます。ゼロ税率化を含め、医療の特殊性を考慮した抜本的な税制上の措置が必要です。	
（３）社会保障財源は、応能負担の原則に 基づき、保険料や税の累進性強化等により 確保することについて	賛成	
（理由・意見）	「能力に応じた負担」は社会保障の基本原則です。所得税の累進性強化や金融所得課税の見直しを進め、持続可能な財源を構築すべきです。	

	福田 じゅんた 中道	宮下 一郎 自民
問3 今後実施が予定、検討される医療制度改革等		
(1)高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げを行わないことについて	賛成	
(理由・意見)	重病を患った際の最後の砦であるこの制度の改悪は、国民の安心を根底から揺るがします。安易な負担増には反対です。	
(2)OTC 類似薬の保険給付の見直しを行わないことについて	賛成	
(理由・意見)	軽微な症状についてはセルフメディケーションを推進すべきですが、慢性疾患等で必要な薬剤が除外され、受診抑制につながるような慎重な制度設計が求められます。	
(3)病床削減ありきでなく必要病床確保を優先することについて	賛成	
(理由・意見)	パンデミックの教訓を忘れてはなりません。経済効率のみを優先した「病床削減ありき」の計画は見直し、地域の実情に応じた柔軟な提供体制を確保すべきです。	
問4 健康保険証、資格確認書について		
(1)保険証新規発行停止を撤回し、従来保険証を利用継続することについて	賛成	
(2)全世代に対し、資格確認書を一律に交付することについて	その他	
(理由・意見)	デジタル化は推進すべきですが、現行の保険証廃止による混乱や無保険状態の発生は許されません。現行保険証の存続を認め、併用すべきです。またマイナ保険証を保有しない全ての国民が、申請の手間なく確実に医療を受けられるよう、プッシュ型の一律交付を行うべき。	
問5 医療政策に関する自由意見	医療従事者の適切な処遇改善と、ICT活用による現場の負担軽減を両立させるとともに、過度な自己負担増から国民を守ります。また、医療の非課税問題（損税）の解決など、医療機関が安定して地域医療に専念できる環境づくりに全力を注ぎます。イデオロギーに偏らない現実的かつ持続可能な改革を推進してまいります。	

期日までに政策についての回答が得られませんでした

アンケート質問項目

問1 診療報酬について

人事院勧告を上回る物価・賃金上昇への対応が可能となるよう、基本診療料を中心に診療報酬を10%以上引き上げることについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

問2 消費税、社会保障財源等

(1) 消費税について、将来的には廃止し、当面は税率を5%に引き下げることについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

(2) 保険診療に係る消費税の「損税」を解消するため、ゼロ税率（課税0%）化を含む税制上の措置を講じることについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

(3) 社会保障財源は、応能負担の原則に基づき、保険料や税の累進性強化等により確保することについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

問3、今後実施が予定、検討されている医療制度等改革について

(1) 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げ（患者負担増）を行わないことについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

(2) OTC 類似薬の保険給付の見直し（自己負担増・追加負担等）を行わないことについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

(3) 年間4兆円削減など医療費の大幅削減を背景にした「病床削減ありき」の計画（統合・再編を含む）ではなく、必要な病床の確保を優先することについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

問4 健康保険証、資格確認書について

(1) 健康保険証の新規発行停止を撤回し、従来の健康保険証を引き続き利用できるようにすることについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

(2) 全世代に対し、資格確認書を一律に交付することについて

☐ 賛成 ☐ 反対 ☐ その他

問5 医療政策に関する自由意見

医療に対する貴殿の意見をご記入ください。